

事例発表2

へき地・小規模校に
勤務する教員に対する
効果的な研修の開発

令和2年12月11日

北海道立教育研究所

令和元年度(2019年度)

少子化・人口減少社会に対応した 活力ある学校教育推進事業

研究タイトル

へき地・小規模校における教職員研修の充実

研究課題

- ・教職員研修に関すること
- ・その他、都道府県の指導・助言・援助に関すること

調査研究に参画した市町村及び機関

(1) 東神楽町(東神楽小学校、忠栄小学校、志比内小学校)

(2) 岩見沢市(上幌向中学校、栗沢中学校)

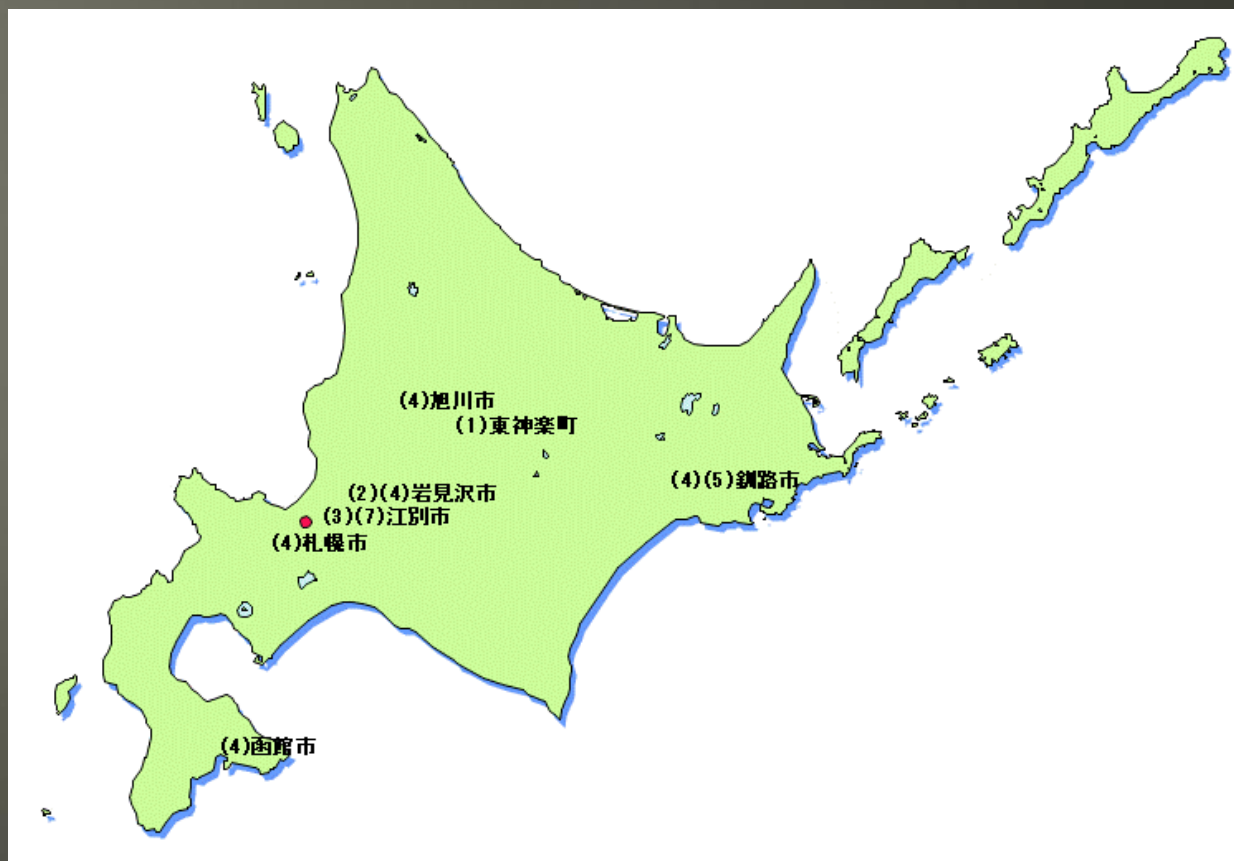
(3) 江別市(北光小学校)

(4) 北海道教育大学(道内に5キャンパス)

(5) 北海道教育大学へき地・小規模校
教育研究センター

(6) 北海道へき地・複式教育研究連盟

(7) 北海道立教育研究所



取組 I

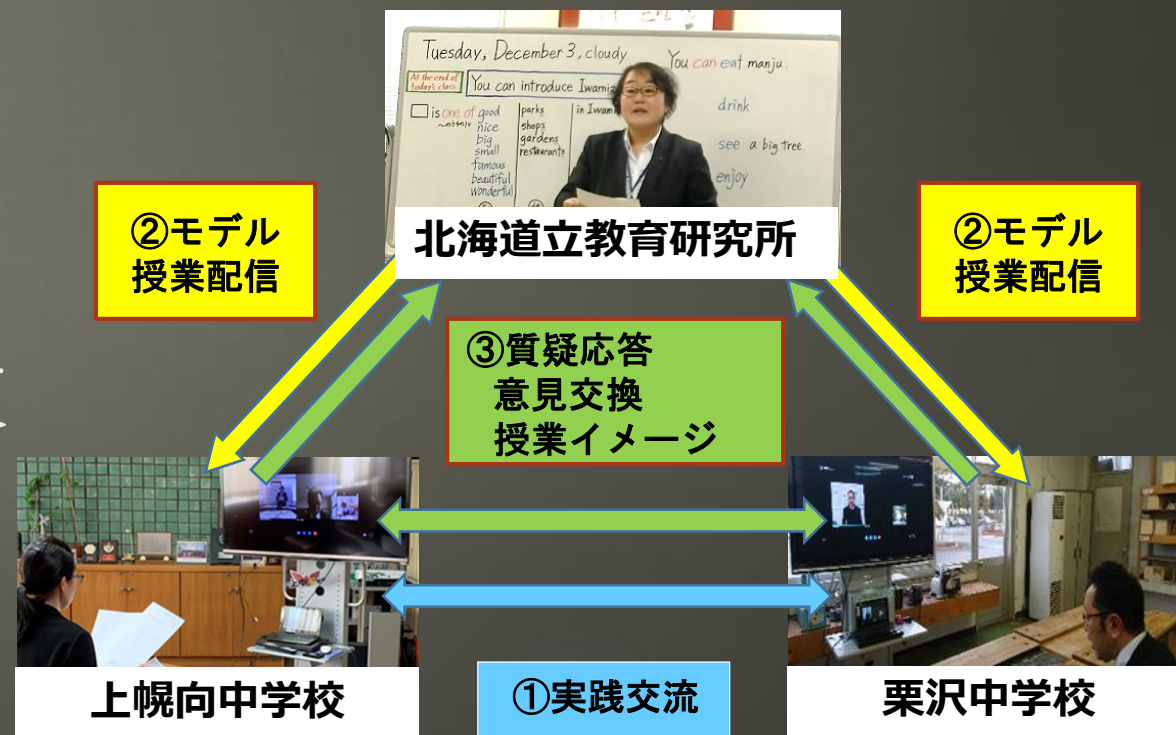
◆ 勤務校(中学校2校)と北海道立教育研究所
を接続した遠隔研修

ねらい

- 他校の外国語担当教員と授業を見合うなどの交流を通して、指導力を高める。

実施方法

- ①相互の授業を参観し、指導方法等に関する実践交流
- ②道立教育研究所員からモデル授業を配信
- ③質疑応答・意見交換、授業に反映できる内容の確認



取組 I

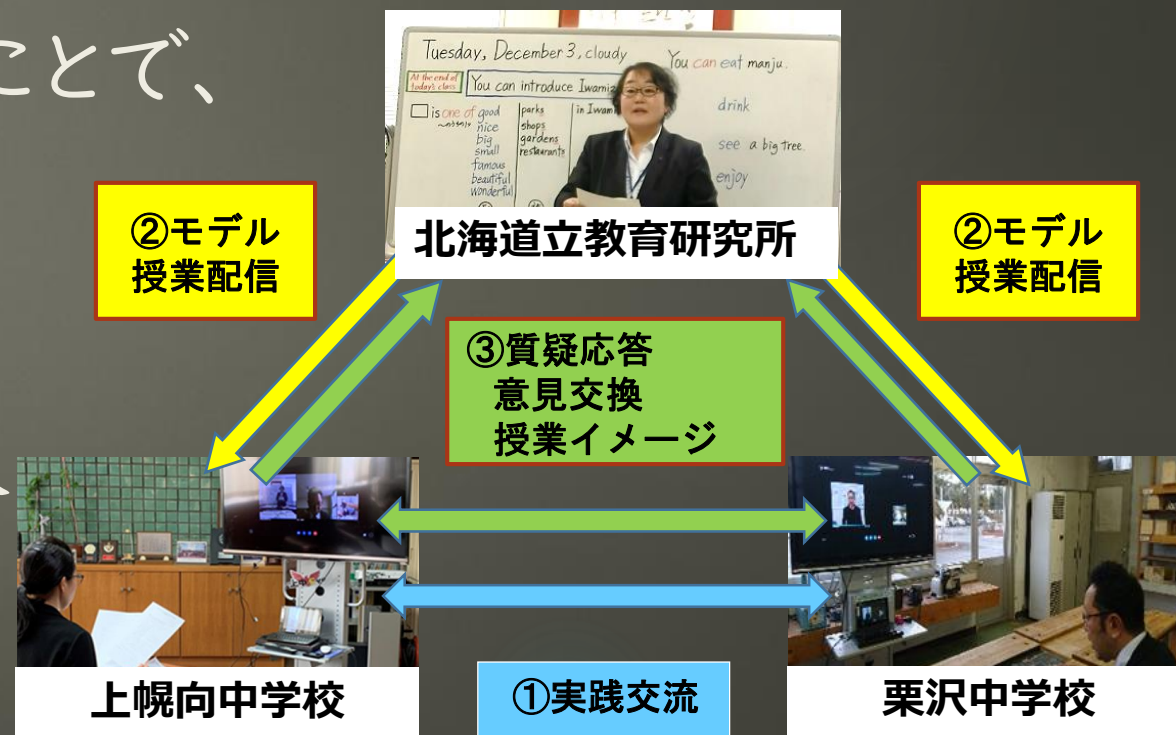
◆ 勤務校(中学校2校)と北海道立教育研究所
を接続した遠隔研修

○ 実践の成果

- ・ 授業交流の機会が多くあれば、外国語の指導力を高めることができると実感できた。
- ・ 授業に関して実践を交流できたことで、多くの学びを得ることができた。

● 今後の方向性

- ・ 遠隔システムを活用して、校区の小学校の外国語活動を参観し合うことができれば、小中連携にもつながると感じた。



取組2

◆ 道研と大学が連携し、大学の通信ネットワークと教育力を活用した遠隔研修の実施

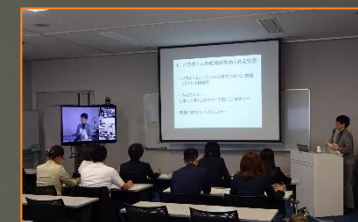
ねらい

- 北海道教育大学と連携し、専門的な知識を有する講師による講義等を通じて参加者の指導力等を高める。

実施方法

- ① 北海道教育大学のビデオ会議システムを活用し、北海道教育大学の4キャンパスを結んだ遠隔研修
- ② メイン会場から、講義や実践発表を各会場に配信
- ③ 4会場を結んでトークセッション

札幌駅前サテライト
(メイン会場)



ビデオ会議方式により4つの会場を接続



旭川会場



釧路会場



函館会場

取組2

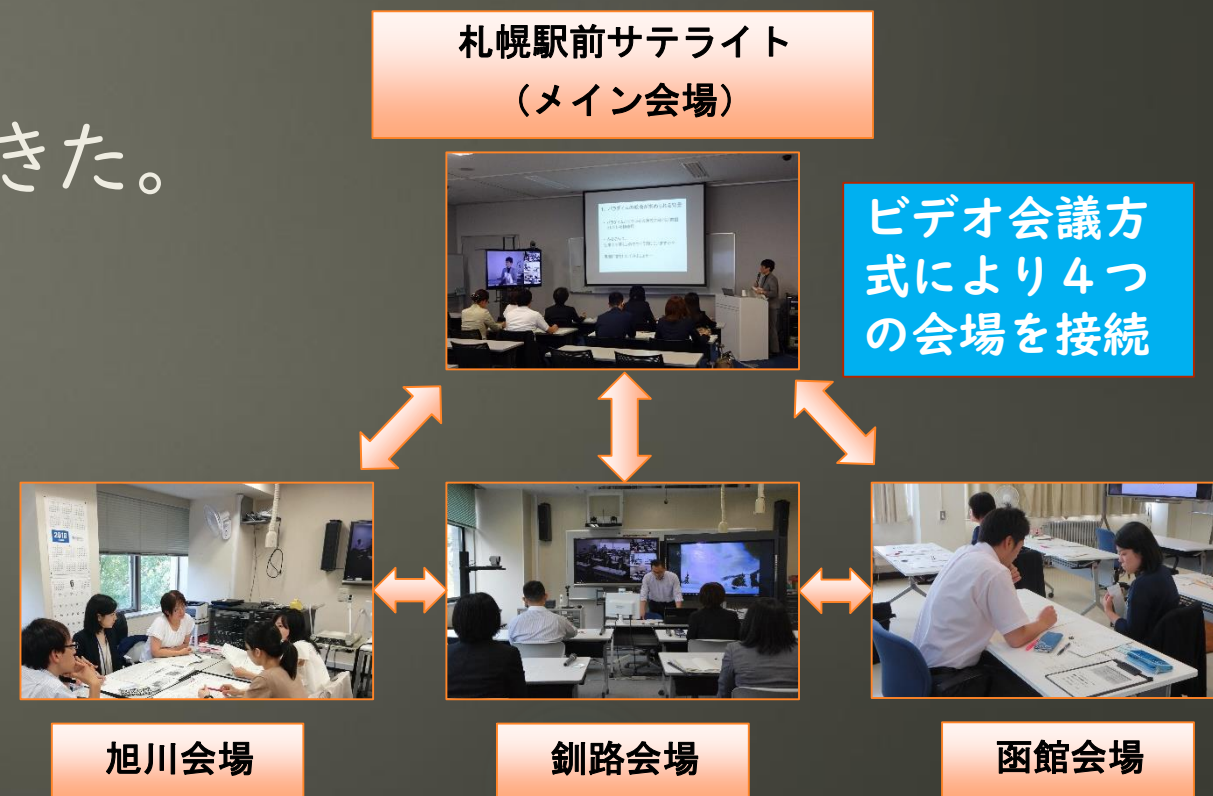
◆ 道研と大学が連携し、大学の通信ネットワークと教育力を活用した遠隔研修の実施

○ 実践の成果

- ・ 道央圏から遠いところにある市町村においても、参加がしやすくなった。
- ・ 他の管内の様子を知ることができた。

● 今後の方向性

- ・ 対面型の研修との違いを明確にするとともに、遠隔研修のもち方を工夫する必要がある。



取組2

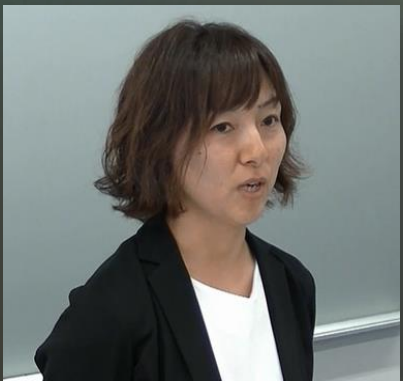
◆ 道研と大学が連携し、大学の通信ネットワークと教育力を活用した遠隔研修の実施

○ 受講者の声



石狩管内石狩市中学校教諭

- 道南や道東の先生方の発表により、地域性の違いなど新たな視点での気づきが生まれました。
- ▲ 遠隔研修のシステムの操作については、教職大学院のアシスタントの方など、操作に慣れている方に任せてはどうでしょうか。



後志管内蘭越町小学校教諭

- 校内でも同僚の先生と学校課題について話すことはありますが、今日はより広い地域の先生方と話すことができました。
- 遠隔研修に初めて参加しましたが、あまりストレスを感じず、他会場の方とも悩みを共有できたように思えます。

◆研究の成果と今後の取組

○研究の成果

- 通信ネットワークを効果的に活用した研修方法を明らかにすることができた。
- へき地・小規模校に適した効果的な研修の実施が可能であることを明らかにすることができた。
- 研修を関連付けた業務推進体制の重要性を明らかにすることができた。

移動時間の縮減

◆研究の成果と今後の取組

○今後の取組

- ・道研と関係機関が連携した遠隔研修講座の実施と充実
- ・北海道内の市町村等で実施する道研研修講座での成果の普及・還元

教員の指導力向上

移動等の負担を軽減した
研修会場などの環境整備

研修を関連付けた業務推進
体制の整備と小規模校に
適した研修の開発

御清聴ありがとうございました。